

## 令和4年第1回定例会 請願に関わる意見書（案）一覧

意見書（案）	
意見書案第2号	国立病院の機能強化を求める意見書

意見書案第2号

国立病院の機能強化を求める意見書

上記意見書を別紙のとおり提出する。

令和4年3月18日

発議者	北広島市議会議員	稲田保子
賛成者	同	青木崇
同	同	中川昌憲
同	同	桜井芳信
同	同	大迫彰
同	同	人見哲哉
同	同	佐々木百合香

提案理由 必要な人員、医療機器、物品が欠乏し、国民の命が救えないなどという状況はあってはならないことであり、万全の体制で国民と地域医療を守れるよう、国立病院の機能強化を図るため、必要な措置を講ずるよう強く要望する。

提出先 衆参両院議長及び内閣総理大臣外関係大臣

## 国立病院の機能強化を求める意見書

新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という）の感染拡大によって、感染症対策のみならず、日本の医療体制のぜい弱さが浮き彫りとなった。新型コロナに感染しても、受け入れる病院・病床・スタッフの不足等で、医療体制のひっ迫した状態が続き、療養施設や自宅待機を余儀なくされ、入院できぬままに亡くなるという痛ましい事例が相次いでおり、まさに「医療崩壊」の危機に直面する事態となっている。

国民のいのちと健康を守るのは、国の責務である。そのためにも、全都道府県にネットワークを持つ、国立高度専門医療研究センター及び国立病院機構病院（以下「国立病院」と表記）の診療・研究に関する必要な経費に国費を投入し、新興感染症対策などの採算が取れないセーフティネット系医療において、国立病院が中心的役割を果たすよう、その機能を強化することが、地域医療を守り充実させることに繋がる。

また、新型コロナまん延時においては、人工呼吸器やECMO（人工心肺装置）等医療機器や取り扱うスタッフが不足し、重症患者への対応が十分に出来ず、さらに現場では、大幅な人員不足に加え、マスクや個人防護服などの必要物品が欠乏し、十分な感染対策も出来ないまま、患者対応をせざるを得ない状況にも陥った。

このように、必要な人員、医療機器、物品が欠乏し、国民の命が救えないなどという状況はあってはならないことであり、国が責任を持って対策に取り組むことが必要である。よって、国会及び政府におかれては、国立病院に対し以下の事項について対応されるよう、強く要望する。

### 記

- 1 新興・再興感染症対策に対応できる専門病床を設置すること。
- 2 新型コロナウイルス感染症等の治療に必要な人工呼吸器やECMO（人工心肺装置）の医療機器等の整備をすすめること。
- 3 「大規模災害」等の発生時において、患者・国民に万全な医療を提供できるよう、医師・看護師をはじめとした職員の増員を図ること。
- 4 上記国立病院の機能強化を図るために必要となる財源を国で措置すること。

以上、地方自治法第99条に基づき意見書を提出する。

令和4年3月18日  
北海道北広島市議会